



CHAdeMO

2013 活動報告書

(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

CHAdeMO 協議会

ごあいさつ



会員の皆さまには、平素から電気自動車並びに急速充電器の普及推進活動へのご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協議会は2010年3月に設立し、早いもので活動も5年目を迎えますが、2013年度はインフラの設置が大きく進展いたしました。日本国内では経済産業省による「次世代自動車充電インフラ整備推進事業」が推進され、更に自動車メーカ4社による「PHV・PHEV・EV充電インフラ普及支援プロジェクト」が開始されて、充電インフラ普及の環境が大きく進化し、また欧州を始め海外においても設置が大きく伸び、世界での設置数は累計で4,000基を越えるレベルに至りました。

当協議会活動の柱の一つであるCHAdeMO仕様の標準化では、IECにてDC充電ステーションとプロトコルの規格が承認され、この規格の国内JIS化作業も完了し、DC充電の標準化は順調に進捗しております。また、V2Hに関しての仕様も、国内関係団体と連携して検討を進めております。

また、検定では、検定業務を外部検定機関に移管することと併せて、ver.1.0仕様の検定を始めるという新しいステージに入ることが出来ました。

チャデモ協議会は温暖化防止という大義のもとに、電気自動車普及に向けた充電インフラの整備を更に推進して参りたいと思います。会員の皆さまにおかれましては、引き続きのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長 志賀 俊之

CHAdeMO が IEC 国際標準として成立

CHAdeMO は 2014 年 4 月, DC 充電方式の国際標準 IEC61851-23/24 として発行されました。

CHAdeMO 準拠の EV, 急速充電器が初めて製品化された 2009 年以来, 私たちは規格標準化への取り組みを続けてまいりました。そして 2014 年 1 月, IEC (国際電気標準会議) において CHAdeMO をはじめとする DC 充電の規格案は FDIS が承認され, 国際標準 61851-23/24 として発行されることになりました。

これまでの経緯

2009 年 7 月	初の CHAdeMO 準拠 EV 三菱 i-MiEV, スバルプラグイン・ステラ発売
2009 年 8 月	CHAdeMO 設立準備会を設置
2009 年 11 月	61851-23 の NWIP を提案, 順次 61851-24, 62196-3 を提案
2010 年 3 月	チャデモ協議会設立
2010 年 4 月	標準仕様書 rev.0.9 発行
2010 年 5 月	充電器検定制度運用開始
2010 年 8 月	仕様書タスクチーム開始
2010 年 12 月	日産リーフ発売
2011 年 6 月	コネクタ WG 開始
2011 年 10 月	1.0 仕様書 WG 開始, V2H 拡張 WG 設置
2012 年 1 月	標準仕様書 rev0.9.1 発行
2012 年 5 月	IEC61851 東京会議 CD レビュー完了, CDV に移行
2012 年 9 月	JIS 標準仕様書 (TS D0007) 発行
2013 年 4 月	IEC61851 トロント会議 CDV 承認
2013 年 5 月	標準仕様書 rev.1.0.1 発行
2013 年 11 月	V2H ガイドライン ver.1.0 公開
2014 年 1 月	61851-23,61851-24 FDIS 承認

規格化された各国の提案システム

	充電システムA	充電システムB	充電システムC	
提案国	日本	中国	アメリカ	ドイツ
充電方式	DC専用		DC/AC複合	
通信方式	CAN	CAN	PLC	
車両コネクタ (充電器側)				
車両インレット (車両側)				

技術部会・整備部会の活動

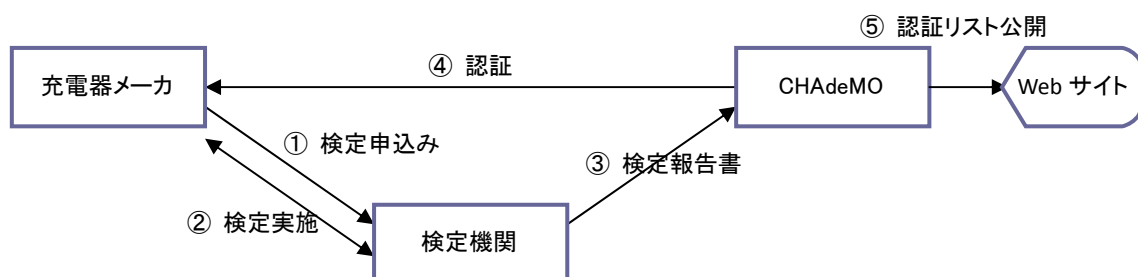
CHAdemo ver.1.0 検定 WG

技術部会では前年度からの課題であった ver.1.0 検定仕様書作成作業を継続し、2013 年 5 月に 1.0 検定仕様書を発行、1 ヶ月のコメント審議を経て 2013 年 8 月に 1.0.1 仕様書追補、1.0.1 検定仕様書を発行しました、

検定仕様書の作成と並行して進めていた検定システムは、2014 年 2 月までに所定のテスト項目の開発が完了しました。その結果、外部検定機関への充電器検定業務移管の見通しを得ることができました。2014 年 3 月現在で検定機関として次の 5 社を登録しました。

- ・ IDIADA（スペイン）
- ・ UL ジャパン（日本）
- ・ テュフ ラインランド ジャパン（日本）
- ・ インターテック ジャパン（日本）
- ・ TERTEC（台湾）

今後、充電器メーカーは登録検定機関に申込みを行ない検定実施後、所定の試験結果報告に基づいて CHAdemo から認証書が発行されるとともに、認証された充電器の情報が公開されます。



CHAdemo V2H WG

CHAdemo インタフェースへの放電機能拡張は、2011 年 10 月に技術部会内に仕様検討 WG を設置することが提案されましたが、同年 11 月、EV だけでなく PHV、燃料電池車も含む電動車両を一般家庭の電源として活用するためには、電気設備としての安全確保・技術基準の作成をすることが必要であるとし、経済産業省の指導のもと燃料電池等活用調査委員会が設置されました。さらに 2012 年 4 月、電動車両用電力供給システム協議会（EVPOSSA）が設立され、普通充電器の互換性・安全性とともに V2H への対応も議論・検討されることになりました。

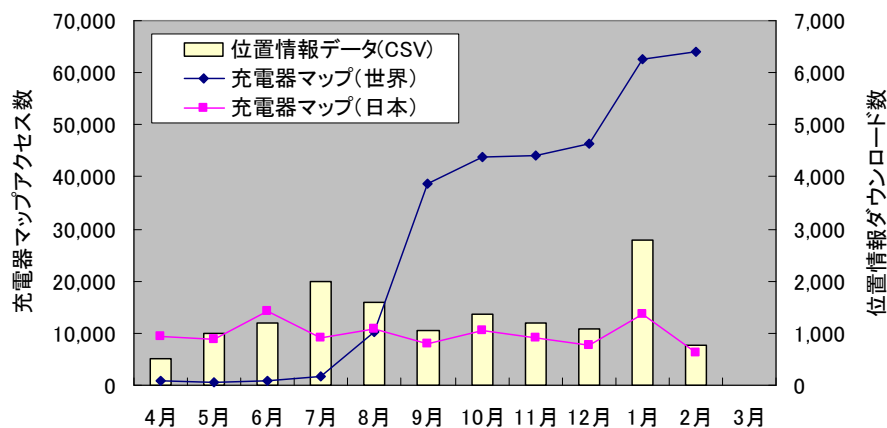
CHAdemo 協議会は、単独の V2H 拡張 WG の活動をいったん中断し、これら 2 つの活動に協力することで拡張仕様の策定作業を進めてまいりました。その結果、2013 年 5 月に EVPOSSA から「電動自動車用充放電システムガイドライン V2H DC 版」として初版の規格が発行されました。しかしながらこの初版ガイドラインはシステムの概要を説明したものであったため、2013 年 6 月よりインタフェースの詳細規定および標準仕様書との整合などを検討するための V2H-WG を設置し、2014 年 4 月に V2H ガイドライン 2.0 を発行しました。

充電器位置情報 WG

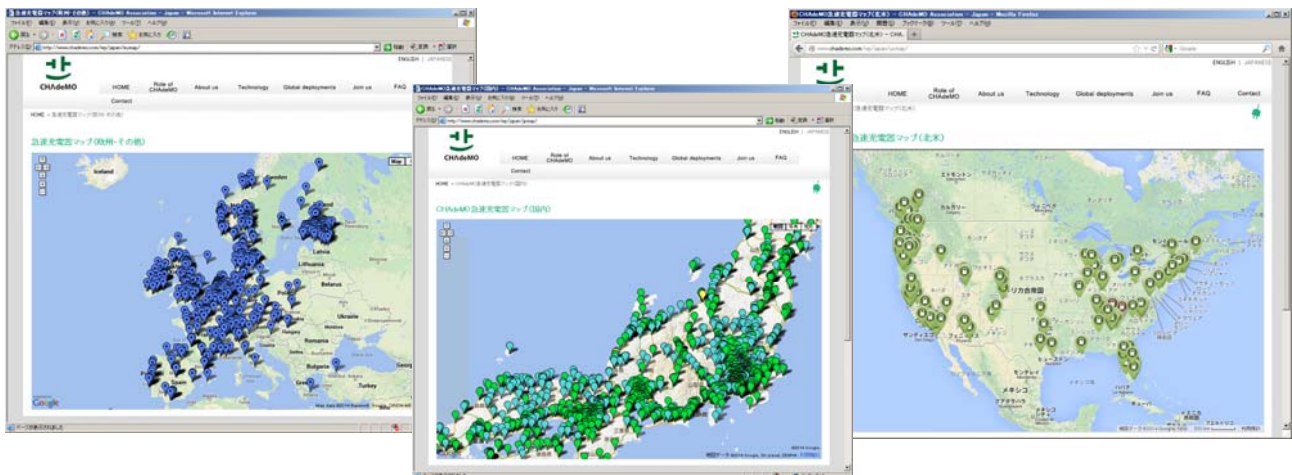
急速充電インフラの整備は、国や自動車メーカーからの支援もあり、国内で 2,000 箇所を超えるまで普及が進んできています。設置数の増加とともに充電施設情報が正確に提供されことの重要性は、すべての関係者で一致しているところですが、情報を提供する企業・団体からは、独自に情報収集を担う負担が大きいことに加え、速やかな情報流通のしくみが必要との意見が多数寄せられました。

このような背景から CHAdeMO 協議会では、位置情報 WG として充電スタンドの情報収集・提供の枠組みを検討してきた結果、2013 年 3 月より CHAdeMO 協議会の Web サイトから CSV 形式のデータ公開を開始しています。公開する位置情報データは、急速充電器および普通充電器（100V/200V）の充電施設位置情報に緯度・経度、利用可能時間、利用方法、料金、など情報提供事業者などが再利用しやすい形で提供されています。位置情報 WG では、情報提供開始から 3 ヶ月ごとに情報更新を行っており、グラフに示すように着実に利用されています。

一方、Google マップによる一般利用者向けの地上法の提供については、年度の後半から海外でのアクセス数が急激に増えてきています。日本国内では充電器の増加とともに複数の充電サービス事業者や情報サイトが出てきているのに対し、海外ではまだ普及が緒についた状況ということかもしれません。



また、これまで国内、欧州にくらべて情報収集のしくみが弱かった北米については、Plugshare サイトを運営する Recargo 社と協力関係を結んだことで、2014 年 2 月から同社の地図情報を CHAdeMO サイトから再配信できるようになり、現在、欧州・北米・日本の3つの地図で情報提供を行なっています。



日本国内の主要イベント

充電インフラ普及支援プロジェクト

経済産業省による平成 24 年度補正予算 1005 億円の大型プロジェクト「次世代自動車充電インフラ整備推進事業」が 2013 年 3 月開始され、充電インフラを戦略的に集中整備するため、全国の自治体および高速道路会社が充電器設置のためのビジョンを策定、4 月から相次いで公開されました。

このプロジェクトは、公開された充電器設置ビジョンに基づく公共性を有する充電設備には購入だけでなく工事費も 3 分の 2 が補助されるという画期的なもので、2013 年度だけで全国的主要インフラが一気に整備されるという期待がもたれました。

国の支援に加え 2013 年 7 月には、トヨタ、日産、本田技研、三菱自動車の自動車メーカ 4 社により「PHV・PHEV・EV 充電インフラ普及支援プロジェクト」の設置が発表され、設置費用の追加支援および維持費用を支援するという計画が発表されました。これらのプロジェクトは大規模であるが故、各地で具体的な設置計画の立案が間に合わず当初 2014 年 2 月としていた応募締切りが、1 年間延長されることが決まりました。

TOYOTA NISSAN HONDA The Power of Dreams MITSUBISHI MOTORS

【PHV・PHEV・EV】充電インフラ普及支援プロジェクト

エネルギー
制約

原油価格中期的には
高止まり



地球温暖化
問題



成長戦略の
必要性

次世代自動車・電池を
成長の牽引車に

出典 <http://tnhm-juuden.com/>

このような、まさにオールジャパンで理想的な充電インフラが整備されることになった効果として、国内で販売されている EV・PHEV への関心が高まっただけでなく、テスラモーターズ、BMW、フォルクスワーゲンなど海外自動車メーカ各社から、日本市場に向けて CHAdeMO 対応の EV が発売されることが発表されました。



EV スーパーセブン急速充電の旅

日本 EV クラブの企画「チャデモで行く日本一周 EV スーパーセブン急速充電の旅」は CHAdeMO 協議会が共催しました。企画の狙いは、ケータハム・スーパーセブンをベース車両として 13kWh のリチウムイオン電池を搭載した EV（一充電走行距離は 120km）が日本一周にチャレンジすることで、EV の楽しさ・環境性、社会インフラとしての急速充電器の重要性を多くの人たちに知ってもらおうというものです。

このプロジェクトには三菱自動車をはじめとして多くの CHAdeMO 協議会の会員が後援企業に名を連ねました。おかげさまで 9 月 24 日に経済産業省（霞ヶ関）を出発した EV スーパーセブンは、約 8,000km の行程を 161 回の急速充電を行い 11 月 17 日東京都庁で無事に完結することができました。

12 月 17 日の整備部会では代表の館内さんからプロジェクトの成果報告が行なわれました。その中で、高速道路 SA やコンビニエンスストアなどの利用頻度が高い充電スポットでの運用実態、導入が進みつつある認証課金システムの使い勝手の改善ポイント、全国の充電スポットの情報管理の必要性、ユーザ視点から充電器の操作性・情報提供の重要性など貴重な提言をいただくことができました。



Smart City Week 2013

Smart City Week2013 の展示会は、10月23日（水）～25日（金）パシフィコ横浜で開催され延べ 17,000 人の方がご来場されました。CHAdemo 協議会としての出展も今回で 3 回目となり、10 社の会員企業の皆様にご参加いただきました。

CHAdemo ブースに立ち寄っていただいたお客様からは、展示製品に関するもの以外に今年度実施されている充電インフラ推進プロジェクトによる導入台数の見通しや欧州でのコンポチャージャー、マルチアームチャージャーについてご質問・コメントをいただきました。



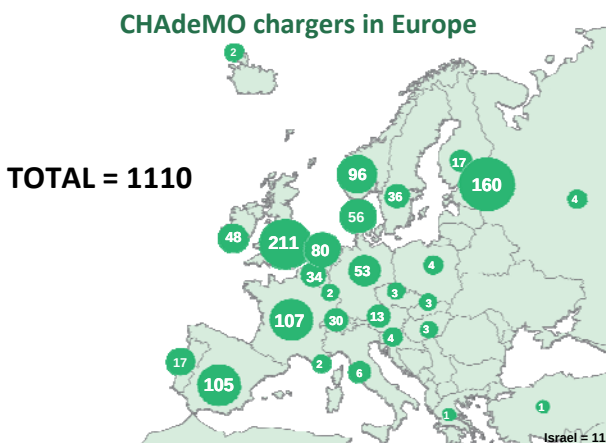
欧州 CHAdeMO の活動

欧州指令 チャデモマルチ充電器を承認

ヨーロッパでは、チャデモ充電器の設置は引き続き堅調で、2014 年 1 月、欧州 27 カ国通算で 1 千基の大会に乗せました。

こうした関係者の尽力に加え、チャデモ欧州の主たる会員企業と事務局による「マルチ充電器」擁護の度重なる働きかけを受けて、欧州連合は「代替エネルギーインフラ整備法案」の審議において、チャデモコネクタも含めた「マルチ充電器」を承認する最終案をまとめました。

欧州市場では既にマルチ充電器が主流となっており、欧州連合の法案はこれを追認する形となりました。一台でチャデモ、コンボ双方のコネクタに対応できるマルチ充電器の設置がさらに進むことは利用者にとって朗報であり、電気自動車の普及に弾みがつくものと期待されます。



チャデモ共同展示

欧州チャデモでは、2013 年度、3 つの大きなイベントに出展しました。会員企業の皆様と共同展示ブースを設けることで、電動化を推進する「国際的で協力的なグループ」としてのチャデモのイメージを訪問者に印象付けることができました。欧州 27 カ国の国別チャデモ充電器設置数を示した地図はチャデモブースのトレードマークとして好評を博しました。共同出展企業からも、引き続きチャデモブースを続けてほしいとのご依頼をいただきました。

- ハノーバーメッセ（ドイツ・ハノーバー、2013 年 4 月）チャデモ単独での出展
- eCarTec（ドイツ・ミュンヘン、2013 年 10 月）会員企業 7 社との共同出展（写真左）
- EVS27（スペイン・バルセロナ、2013 年 11 月）展示会場入り口近くの好ロケーションに 7 カ国から会員企業計 10 社の参加を得て、大勢の訪問者の注目を集めました。（写真右）



情報発信チャネルの拡充

チャデモの技術、充電器、電気自動車の認知度拡大のために、欧州チャデモではソーシャルメディアを含めた各種広報チャネルの拡充を図りました。

■ 会員向けニュースレター

チャデモ会員向けのEメールベースのニュースレターをほぼ毎月発行しています。協議会の活動予告や事後報告、標準化の動向、会員企業のチャデモ関連ニュース、充電器網の拡大などを掲載し、欧州事務局から会員企業の皆様へ、直接、定期的な情報提供を継続しました。



■ ツイッター

チャデモ関連の活動やニュースは、会員企業の皆様のみならず、EV愛好家や業界全般に関わることも多いため、こうしたグループにもリアルタイムでチャデモニュースやちょっとしたつぶやきを提供できるよう、ツイッターのアカウントを設定しました。静かに始めた活動でしたが、欧州チャデモのアカウント（CHAdemo_eu）のフォロワーは着実に増加しており、急速充電に関するチャデモ関連の記事やイベントの写真、各種記事へのリンク等がツイッターを通じて拡散するケースも増え、チャデモへの関心の高さが伺えます。



■ ニュース記事

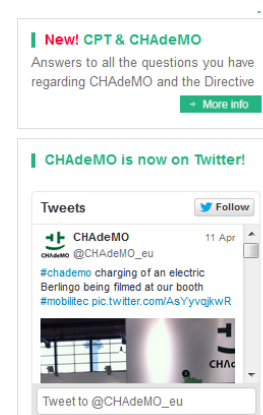
チャデモウェブサイトの英語版では、急速充電器の整備全般、標準化の動向、会員企業の新規プロジェクト情報、欧州議会でのインフラ法案整備の進捗状況や協議会の活動やポジションペーパーまで、幅広く情報提供しています。こうしたチャデモ協議会からの情報発信記事はEV 関連メディア等に度々取り上げられてきました。



■ ウェブサイトの新コーナー

チャデモウェブサイトの英語版のトップページには、新規の記事や既存のコンテンツに加えて、新たに二つのコーナーを開設しました。

一つ目はツイッターボックスで、最新の欧州チャデモのツイートをフォローできるようになっています。二つ目は欧州インフラ法案に関するFAQ コーナーで、この法案の内容や審議の進捗状況をわかりやすく解説しています。



国際会議でのメッセージ発信

欧州チャデモでは、国際会議での発表の機会を捉えて、急速充電網整備における先駆者である協議会の会員企業や自治体の先進的な取り組みを紹介するとともに、急速充電の重要性を訴えています。

- **オスロ（ノルウェー）** チャデモ協議会の創始者でもある、東京電力の姉川尚史常務が世界 EV サミット会議で発表し、電気自動車や充電技術の標準化の歴史を振り返ると共に、チャデモとして公共の場で初めてマルチ充電器の重要性に触れました。（写真左）
- **リール（フランス）** 欧州チャデモのプレッシュ山辺知子事務局長が EPE' 13・ECCE 欧州会議で発表し、マルチ充電器における各種技術標準の共存と協力を訴えました。
- **ミュンヘン（ドイツ）** 5 回目を数える電気・ハイブリッドモビリティ会議では、協議会幹事会を代表して、吉井孝憲 MRDE（三菱モーターR&D）社長が基調講演し、チャデモ会員企業の経験に基づく知見を紹介しながら急速充電の重要性を伝えました。（写真右）
- **バルセロナ（スペイン）** 電気自動車関係の会議として最も歴史の長いとされる EVS27 で、チャデモ協議会の論文が採用され、充電インフラ部門のセッションで協議会メンバーである ESB eCars と ENDESA の参加を得て共同発表を行いました。
- **ブリュッセル（ベルギー）** 欧州でインターモーダル関連課題に積極的に取り組む自治体の担当者を集めたインターモード会議において、欧州チャデモのプレッシュ山辺事務局長が電動化社会の促進において急速充電網の果たす役割についてデータを交えながら説明しました。
- **モナコ王国** 欧州チャデモ事務局のナタリア・コズドラ会員リエゾン・オフィサーが EVER（エコカー・新エネ会議）のラウンドテーブルで、スマートシティのコンセプトにおけるチャデモ急速充電の役割について話しました。



第四回欧州チャデモ会員総会（バルセロナ）

今年度の欧州チャデモの会員総会は EVS27 の開催に合わせてバルセロナで開かれました。17 カ国から 60 人以上が参加し、技術関連やビジネスモデルに関するプレゼンテーションを交えながら、意見交換しました。

正会員向けの技術セッションでは、技術部会を代表して灰田武史・今津知也両 WG リーダーがチャデモ 1.0 プロセスの検定制度の進捗状況および V2X プロトコルの展開スケジュール等について報告しました。欧州の会員からは質問が相次ぎ、活発な議論が交わされました。



午後のセッションは一般にも公開され、話題性のあるプレゼンテーションが続きました。全国高速道路に急速充電ステーション網を建設するスタートアップ企業（オランダ）や、国境を越えたローミング（フランス）、グリッドへのインパクトを緩和すると共に電気基本料金を下げられるよう、補助バッテリーを搭載した急速充電器（フランス）、電気自動車 100% の全国規模のカーシェアリング（エストニア）といったプロジェクトや製品が紹介され、参加者からも多くの質問が投げかけられました。

チャデモチーム電気自動車ラリーに参加（フランス）

急速充電器を用いた電気自動車の長距離走行の可能性について広く知ってもらおうと、欧州チャデモでは 2013 年 9 月、フランス南西部で開催された EV ラリー、「Tour Poitou-Charentes」に参加しました。ラリーの課題は 2 日間で 350 キロを走るというものでしたが、チャデモチームはこれに独自のルートを加え、4 日間で合計 1000 キロを走破しました。フル充電で 120 キロ走行できるシトロエン社の C-ZERO をチャデモカラーで飾り、急速充電器から急速充電器へ、時にはハラハラしながらもエコドライブを進め、ラリーも部門 2 位で完走しました。チャデモチームの挑戦は行く先々で歓迎を受け、地元メディアからも度々取材を受けました。



2013 年度活動サマリ

	2013年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014年 1月	2月	3月
幹事会 総会・欧州会議	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
技術部会		★(5/22)CHAdemo総会						★(11/20)欧州会議				
		★(5/21) Ver.1.0検定仕様書・仕様書追補ドラフト発行>コメント募集										
			★(6/25)JIS TS(英語版)発行									
				★(8/5) Ver.1.0.1検定仕様書・仕様書追補1発行								
								★(11/15)V2Hガイドライン公開				
整備部会 位置情報共有化WG 設置・運用手引きWG	★(3/29)公開#1			★(7/11) ★(7/4)更新 ★(7/24)ver.3改訂			★(10/21) ★(10/4)更新		★(12/17) ★(1/10)更新			★(3/4) ★(3/28)更新
国際標準化会議	★(4/9-19)IEC TC69@Tront							★(11/18-22)IEC TC69/WG4@Barcelona			★ 61851-23/24 FDIS承認	
充電器検定実績	★日立製作所	★EFACEC(ポルトガル)		★Nation-E(スイス)			★Schneider(仏)	★PNE SOLUTION(韓国)				
			★富士電機				★Delta Electronics(台湾)	★高岳製作所				
			★Tritium(オーストラリア)				★日鉄住金テックスエンジ	★ハセテック				
			★日東工業				★日産	★日東工業				
						★日立製作所		★日立製作所		★ABB		
						★ハセテック		★日産		★JFEエンジニアリング		
								★Andromeda(米)		★ニチコン		
								★日産				
広報・渉外活動など	★(4/8-12)Hannover Messe											
		★(5/15)World EV Summit in Norway										
				★自動車メーカー4社充電インフラ整備共同プロジェクト発足								
				★(8/15) Pan European Networks Government Articles published								
				★(9/17-19) EV rally 'Tour VE Poitou-Charentes'								
				★(9/25-11/18) EVスーパーセブン急速充電の旅								
				★充電器世界累計3,000台達成								
				★(10/15-17) eCarTech@Munich								
				★(10/23-25) 日経SmartCityWeek								
				★(11/17-20)EVS27@Barcelona								
				★欧州域内で充電器累計1,000台達成								
				★(2/6) Intermodos @Brussels								
				★(3/26) EVER @Monaco								

仕様書・検定WGの開催実績

	開催日	主な議題
第18回/20回	4月11日	コネクタチェックシート／検定, 追補内容審議
第19回/21回	5月15日	検定仕様書・追補審議／発行スケジュール
第20回/22回	6月26日	検定書・追補ドラフトコメント審議
第1回仕様書WG	9月6日	充電ケーブル規格, V2H-WGからの課題提起
第2回仕様書WG	12月25日	V2H拡張仕様との互換性審議
第3回仕様書WG	1月10日	V2H拡張仕様との互換性審議
第4回仕様書WG	1月29日	1.0検定手続き, V2H仕様拡張項目, 電力品質対
第5回仕様書WG	3月25日	欧州技術WG対応, 拡張仕様審議

検定WG参加企業:

日産(主査), 三菱自動車, トヨタ, 富士重工, ホンダ, スズキ, マツダ
高岳製作所, ハセテック, 高砂製作所, 富士電機, 日鉄エレックス,
矢崎総業, JFEエンジニアリング, 日立, 新電元,
ベクタージャパン, 東京電力(幹事)

コネクタWGの開催実績

	開催日	主な議題
第20回SWG	6月20日	コネクタ検定, V2H用コネクタ
第21回SWG	2月5日	V2H用コネクタ

コネクタWG参加企業:

矢崎総業(主査), 矢崎部品, フジクラ, 住友電気工業, ITTキャノン,
日本航空電子, タイコエレクトロニクスジャパン, 大電,
パーツサプライセンター, 日立電線, フェニックス・コンタクト,
古河電気工業, U'eyes Design, ワゴジャパン, 東京電力(幹事)

CHAdemo V2H-WGの開催実績

	開催日	主な議題
第1回	6月7日	活動スコープ, 検討課題整理
第2回	6月20日	検討課題のカテゴリ, オーナ分類
第3回	7月4日	全体方針とスケジュール, 課題審議
第4回	7月24日	課題リストによるコメント審議
第5回	8月8日	課題リストによるコメント審議
第6回	8月29日	課題リストによるコメント審議
第7回	9月13日	EVPOSSAガイドラインの開示方針, 課題審議
第8回	9月26日	課題リストによるコメント審議
第9回	10月17日	標準仕様書との相違事項, 課題審議
第10回	10月31日	ガイドライン記述方針, 課題審議
第11回	11月14日	拡張機能の影響調査, 課題審議
第12回	11月28日	ガイドライン編集方針, 課題審議
第13回	12月12日	課題審議, 仕様書WGへの申し送り事項
第14回	12月25日	課題審議, 仕様書WGの報告
第15回	1月19日	V2Hガイドライン
第16回	2月13日	検定スキーム, コネクタSWG検討結果報告
第17回	3月20日	検定スキーム, ガイドライン最終案

V2H仕様拡張WG参加企業:

日産(主査), 三菱自動車, トヨタ, ホンダ, デンソー, パナソニック,
シャープ,
日立IEシステム, 三菱電機, 富士電機, 高砂, ハセテック, 日鉄エレック
ス,
矢崎, 住友電工, 東京電力(幹事)

整備部会開催実績

開催日	参加者	主な議題	発表者
第18回 7月11日	154	次世代自動車充電インフラ整備促進事業 スマートコミュニティとEV関連の実証事業 スペイン・マラガ実証プロジェクト ハワイ実証プロジェクト スマートハウス(新宿実証プロジェクト)	次世代自動車振興センター NEDO 三菱重工 日立製作所 早稲田大学
第19回 10月21日	145	英国及び欧州における充電インフラの現状 ELEM0-AKITA営業運転開始報告 V2H EV パワー・ステーションの開発 EV スーパーセブン急速充電の旅中間報告 EV・PHVタウン構想推進検討会の紹介 SMART MOBILITY CITY 2013ご案内 コイン課金装置のインターフェース仕様	Zero Carbon Futures(英) 秋田県 ニチコン 日本EV クラブ 経済産業省 電通 富士電機
第20回 12月17日	128	自動車4社による充電インフラ設置推進について 急速充電機能付き車載ローダー車「Q太郎」について パワーエレクトロニクス機器のEMC試験設備紹介 EVスーパーセブン急速充電の旅最終報告 電気自動車用急速充電器保守事業の紹介 チャデモ欧州会議報告	日産自動車 モビリティープラス KEC 日本EVクラブ ミントウェーブ チャデモ事務局
第21回 3月26日	112	TESLA モデルS・CHAdemoアダプタ 充電サービスの現状と課題 新しい直流地絡検出の方式	テスラモーターズ NEXCO中日本 正興C&E

位置情報WGの開催実績

	開催日	主な議題
21回SWG	4月23日	システム開発スケジュール, 報提供依頼活動
22回SWG	5月29日	システム開発費用の資金検討, 公開データ更新
23回SWG	6月7日	システム開発費用の資金検討
24回SWG	7月3日	年間データ更新スケジュール, 補助金対応
	7月5日	公開データ更新
	10月4日	公開データ更新
	1月10日	公開データ更新
	3月28日	公開データ更新

位置情報SWG参加企業:

インクリメントP(主査), 三菱自動車, 富士通, 東京電力(幹事)

幹事会開催実績

開催日	主な議題
4月12日	2012活動報告, 2013総会議案, V2Hガイドライン
5月10日	2013総会進行案
6月14日	検定スケジュール, コンサルタント契約, CCS対応
7月12日	CCS対応, 欧州活動計画, JIS化
8月23日	検定スケジュール, 欧州議会対応
9月27日	V2H ガイドライン対応, 技術部会の体制
10月24日	検定スケジュール, 組織運営体制, V2Hガイドライン
11月29日	1.0検定の進め方, 欧州会議報告, 欧州CPT報告
12月20日	1.0検定の進め方, 欧州技術部会設置, IEEE規格化
1月24日	コンサルタント契約, 1.0検定業務移管, 単相充電器
2月1日	法人化・組織改変, 充電器検定方針, V2H検定方針
2月28日	法人化・組織改変, 普通充電の技術課題
3月14日	V2H検定方針, 欧州検定・技術WG